

第85回
メーデー

格差社会をなくし、 生きる権利を勝ち取る



集団的自衛権の行使を許さないぞ

第85回中央メーデーは、4月26日に行い、東京地公労集會を千駄ヶ谷区民會館で開き、代々木公園までデモ行進をして、メーデー式典へ95人が参加しました。5月1日には587人が参加し、日比谷メーデー（7,000人が結集）を行いました。格差社会をなくせ、集団的自衛権の行使を許さないと訴えながら東京駅まで整然とデモ行進をしました。



東京清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円

編集責任 野崎 優三
教宣部長 野崎 優三

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。





日比谷野外音楽堂を埋めつくす闘う労働者の組合旗

荒川支部の組合員の田崎明さん

平成25年度第6回荒川区柳田邦男絵本大賞
一般の部で、「大賞」を受賞

「こねこのクリスマス」の思い出 を紹介します

差別することを許さない気持ち、子どもや生き物に
対する愛情あふれる作品を書いています

荒川支部の組合員である田崎明さんは、平成25年度第6回荒川区柳田邦男絵本大賞 一般の部で、「大賞」を受賞されました。

荒川区では読書推進活動の一環として、ノンフィクション作家柳田邦男氏の協力を得て、平成20年度に「柳田邦男絵本大賞」を創設しています。個人的な体験がかきやすいようにと柳田氏

へ宛てた手紙形式で募集し、多くの方が応募しています。

田崎さんは22年度には、「よみがえった黒べえ」を、23年度には、「ごみしゅう車」を、24年度には、「ごみしゅう車」を、25年度には、「こねこのクリスマス」を受賞されています。

「よみがえった黒べえ」を、23年度には、「ごみしゅう車」を、24年度には、「ごみしゅう車」を、25年度には、「こねこのクリスマス」を受賞されています。



これらの絵本もぜひ子どもたちに読んであげて

今回「大賞」を受賞された「こねこのクリスマス」の思い出を紹介します。

「よみがえった黒べえ」は、皮革の町く木下川(き

ねがわ)解放子ども会の取り組みから生まれた絵本です。差別を許さない心を育て、すべての人間の尊厳を訴える作品です。

「ごみしゅう車」は、八王子市が市民や学生と協働で作った分別の大切さを伝える絵本アプリです。市民と収集職員とのふれあいがあるからこそ生まれてくる作品です。

これらの絵本もぜひ子どもたちに読んであげたいものです。



第四地連



第五地連



女性部・退職者会の仲間